

授業科目名	学校・施設 インターンシップ I	教員名	河原 国男 佐々木 由喜子 (実務経験のある教員) 田上 幸雅 (実務経験のある教員)	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択
					小学校教諭	必修
科目番号	JIS101	配当年次	1 年前期		幼稚園教諭	必修
					保育士	選択
授業形態	実習				こども音楽療育士	
単位数	1 単位				情報処理士	
科目						
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	乳幼児、児童及び生徒並びに学習環境等に対して適切な観察を行い、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習校・現場体験先の乳幼児、児童及び生徒の実態と、これを踏まえた学校・施設（園）の経営並びに技能を理解する。大学で学ぶ理論と学校・施設実践を結び付け、実践的指導力を高め、教員・保育者に必要な資質・能力を養う。自己の職業適性やキャリア形成について考える。					
到達目標	(1) 学校・施設における授業以外の実務や実践的な業務(授業の補助、学校行事や部活動への参加、放課後の児童クラブ、土曜授業の補助など)を経験することを通して学校・施設の実務・教員の職務について理解する。 (2) 乳幼児、児童及び生徒への様々な日常活動の場面で適切に関わる必要性を理解できる。 (3) 学校教育・保育における今日的課題について、課題解決に向けた取組を見学・経験しながら、学校・施設の経営方針及び特色ある教育・保育活動等並びにそれらを実施する組織体制を理解する。 (4) 大学で学ぶ理論と学校・施設インターンシップで学んだことを結び付けながら自身の学びを振り返り、教職に関する事柄に対する省察力を高める。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本演習は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」 「4. 教育に関する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている。」 「5. 教育実践力を身につけている。」 「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	本科目は、上記の一般目標、到達目標の実現のため、学校（幼稚園を含む）、保育所、社会教育施設、その他の関連施設で乳幼児、児童等とのかかわる「体験活動」であって、全体として、Active Learningとして特徴づけることができる。 「教育実習」と学校・施設にかかわる「体験活動」が相まって実践力を身につけることができると期待する。本学では1単位の実習単位としてカウントする。 その実施に際しては、受入れ(学校、社会教育施設、保育所等)の施設の職員及び、学部内の教育保育担当教員の指導・助言のもとに参加する。 終了後は、自身の体験活動を振り返り所定の報告書を提出する。					
履修条件・注意事項	・免許状を取得する場合は、必修とする。免許状を取得しない場合は卒業所要単位から除く。 ・実習先の学校・園は、学生諸君の実習のためにあるのではなく、子どもたちの学びの場となっている。したがって、教員・保育者への強い志望を持っており、成績評価の対象として定められた実習時間を継続できる学生のみについて受講を認める（途中で中止することは、実習先の子どもの気持ちや学校・園の信頼を裏切ることになるので、厳に慎むこと）。 ・「学校・施設インターンシップ受講登録届」に記入された希望等をもとに、インターンシップ実習先を調整・決定する。 ・実習にかかる交通費等の諸経費は受講生負担とする。					
授業計画	・学校・施設インターンシップ I は初等教育に進む場合と、幼児教育保育に進む場合に分かれて実施する。いずれも、合計時間数は45時間以上 ・初等の場合；以下を認定している：①宮崎県主催するスクールトライアル事業（小・中における3日間の見学実習を含む。1年次）、②宮崎県教育委員会主催「ひなた教師塾」（3-4年次）、③MIYAGAKUこどもフォーラム ・幼保の場合；以下を認定している。保育者養成プログラムのうち「忍ヶ丘保育者塾」「保育者養成実践基礎演習」、その他学部長が認めた現場体験等 ・上記以外について、教員・保育者・保育教諭の資質向上につながる活動を認定するので、担当教員と相談・確認の上、実施すること。 第1回：学校インターンシップに関するオリエンテーション・事前研修会(個人情報・研究倫理研修を含む)①～⑧については、それぞれの機会（月曜3限、その他）に事前指導を行う。 第2回～第15回					

授業外学修時間の確保について	
学生に対する評価	授業計画に記載されているボランティア活動を45時間以上経験したことを報告書等で確認する他、提出されたレポートあるいは事後報告等を評価し、「合・否」で判定する。
テキスト	
参考書・参考資料等	必要な資料はすべてプリントで配布する。
担当者からのメッセージ	免許必修の本科目を履修してのち、選択の「学校・施設インターンシップⅡ」を履修することが実践力を豊かにする点で望ましい。
オフィスアワー	河原国男（メール等でアポイントを取ること） 佐々木由喜子（メール等でアポイントを取ること） 田上幸雅（メール等でアポイントを取ること）
備考	